

■・BASF

We create chemistry

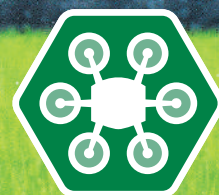


省力化へ発進! ドローンで撒けるバサグラン登場!

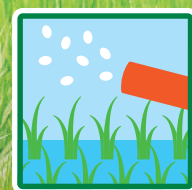
水稻用除草剤

バサグラン[®]・エア-1キロ 粒剤

®=BASF社の登録商標



ドローンで撒ける



地上散布も
可能になりました



クログワイ



ホタルイ



ミズガヤツリ



オモダカ



ウリカワ



ヘラオモダカ

適用雑草と使用方法

(2025年8月末現在)

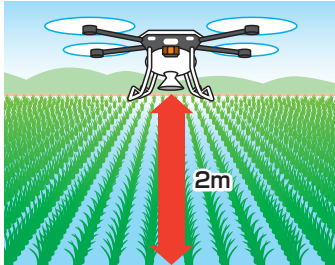
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペンタゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草（イネ科を除く）及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ エゾノサヤヌカグサ、シズイ	移植後15日～ 収穫45日前 まで	1kg/10a	1回	落水又は ごく浅く湛水して 無人航空機による散布	2回以内
					落水散布又は ごく浅く 湛水して散布	
直播水稻	一年生雑草（イネ科を除く）及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ	稲3葉期～ 収穫45日前 まで			落水又は ごく浅く湛水して 無人航空機による散布	
					落水又は ごく浅く 湛水して散布	

ドローンによる推奨散布方法

ほ場周辺への飛散防止と薬剤を十分に拡散させるために、以下の条件を参考に散布してください。

散布条件

飛行高度



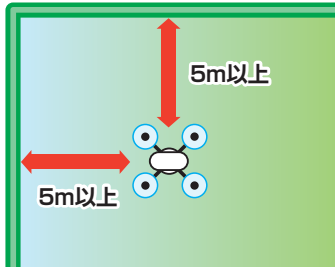
2m

風速



3m/秒以下

畦畔からの距離



5m以上

水深



薬剤使用後は
少なくとも3日間は入水しない
落水処理を推奨

推奨散布方法(目安)

機 体	散布置置	飛行速度 (km/時)	インペラ 回転数	散布幅 (m)	シャッター 開度
T50	T50/T25 粒剤散布 システム	20	1300rpm	6	10.7%
T25		15			9.8%
		20			10.4%
					9.2%
T10/T30	GS110	15	600rpm	5	9.7%
MG-1	GS110K		1200rpm	4	16.5%
	GS220				
YMR-08	GR1-10 標準ローラー		固定	5	vol.64
	GR1-10 ひし形ローラー				vol.15
AC101	AC101 P13		中		38%
AC101 connect					15%
飛助DX/ mini			粒剤7kg/10kg 粒剤散布装置	1300rpm	4

※機材や環境によって誤差が生じることがありますので、散布前に必ず薬量の調節確認を実施してください。

使用上の注意事項

- 本剤は水の移動に伴う移行性が大きく、一般に水深の浅いほど効果が安定します。
- 使用に当たっては落水状態(足跡に水が残っている状態)にして水の出入りをとめ、まきわたらないように均一に散布してください。
- 水を落とすことができないところでは漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態(雑草が水面上に出る状態)にしてまきわたらないように均一に散布してください。
- 散布後少なくとも3日間(浅水処理は5日間)はそのままの状態を保ち、入水はしないでください。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
- 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。
- 深水にすると効果が劣るので注意してください。
- 無人航空機による散布に当たっては、次の注意を守ってください。
- 散布機種は散布基準に従ってください。
- 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からほ場内に散布してください。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- イネ科雑草には効果が劣るので、田植前後の土壌処理除草剤で一年生雑草を防除した後、多年生雑草及び一年生広葉雑草の防除を目的として使用してください。

- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないでください。(減水深2cm/日以上)
- 本剤は生育期に入った雑草に効果がありますが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれがあるので必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワでは、発生盛期から増殖中期まで、オモダカでは発生盛期から発生揃期まで、クログワイでは草丈15cm～20cmまで、エゾノサヤヌカグサでは2葉期まで、シズイでは草丈30cmまでが本剤の散布適期です。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の処置を受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

保管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は農場地に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年8月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

詳細やSDSはWEBで
ご覧いただけます。



BASF-0753 5
202508